

令和4年度

事業計画書  
収支予算書

公益財団法人兵庫県科学技術振興財団

## 目 次

### 令和4年度事業計画書

I 背景	1
II 背景を踏まえた本年度の事業計画	1
III 科学技術に関する助成及び普及啓発事業	
1. 兵庫県科学技術振興助成金の贈呈	1
(1) 新技術実施化の助成	
(2) 試作試験の助成	
2. 科学技術振興に関する普及啓発事業の実施	1
IV 健全な財政基盤の構築と事務局運営	2

### 令和4年度予算 正味財産増減計算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)	3
----------------------	---

### 令和4年度収支予算書内訳表

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)	4
----------------------	---

# 令和4年度 事業計画書

## I. 背景

前年度も、新型コロナウイルスは沈静化の様相を見せたものの、オミクロン株により3回目のワクチン接種が始まるなど、ポストコロナでなくウィズコロナの状況となっています。当財団でも予防を十分に行い、前々年度開催できなかった「成果発表会」を行い、生田神社会館で「成果発表会」「助成金贈呈の会」を開催いたしました。

本年度は、3回目ワクチン接種などで社会環境は変化して行くと予測します。運営はWEB会議等を取り入れ、その時の社会情勢に出来るだけ左右されない運営を行いたいと考えています。

生田神社会館もコロナの影響で閉館となります。これを機に「成果発表会」「助成金贈呈の会」を兵庫県立工業技術センターで開催し、技術色を高めていきます。助成金も兵庫県縁故債の満期に伴う社債借り換えが上手くでき助成金の増額が可能となりました。

世間がこの様な状況であっても「兵庫2030年の展望」にある「起業立県実現プロジェクト」や「先端産業創造プロジェクト」などは粛々と進める必要があります。「スタートアップ企業」「成長期待産業」「マテリアル革命」「中小企業の生産性向上」などがキーワードです。助成金をトリガーとし、企業や研究機関の活性化が地域の活性化に繋がることを目標とし活動することが重要です。

## II. 背景を踏まえた本年度の事業計画

1. 兵庫県下の中小企業における科学技術の研究開発の発掘と助成を行う。
2. 科学技術の発展と科学思想の普及啓発を図り兵庫県の産業の振興と県民の生活及び福祉の向上に資する。
3. 公益財団法人の遵守事項に適合するよう各規定の整備を行い、安定した財政基盤に立った健全な財団運営に取り組む。

## III. 科学技術に関する助成及び普及啓発事業

### 1. 兵庫県科学技術振興助成金の贈呈

#### (1) 新技術実施化の助成

県下における科学技術に関する新技術の実施化に対し、それに必要とする経費を助成する。

#### (2) 試作試験の助成

県下における科学技術に関する新技術の研究または試作試験に対し、それに必要とする経費を助成する。

### 2. 科学技術振興に関する普及啓発事業の実施

県民を対象として、科学技術に関する知識及び思想の普及啓発のための講演会実施、並びに協賛または当該事業に必要とする経費を助成する。

#### **IV. 健全な財政基盤の構築事務局の運営**

ホームページの充実、他法人の機関紙、更に今年度は直接個人へのメール周知などを通じ、幅広く事業の周知を図り助成金の応募件数並びに賛同者の増加に努める。

## 令和4年度予算案 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

	A 科 目	B 令和3年度予算	C 令和4年度予算	D 増減 (C-B)	E 備考
1					
2	<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
3	1. 経常増減の部				
4	(1) 経常収益				
5	① 基本財産運用益	[ 2,140,000 ]	[ 3,312,614 ]	[ 1,172,614 ]	縁故債満期による
6	基本財産受取利息	2,140,000	3,312,614	1,172,614	
7	② 特定資産運用益	[ 28,200 ]	[ 28,200 ]	[ 0 ]	
8	特定資産受取利息	28,200	28,200	0	
9	③ 雑収益	[ 0 ]	[ 23 ]	[ 23 ]	
10	受取預金利息	0	23	23	
11	経常収益計	2,168,200	3,340,837	1,172,637	
12	(2) 経常費用				
13	① 事業費	[ 1,803,000 ]	[ 2,566,000 ]	[ 763,000 ]	社債借り換えによる  生田神社会館閉館 成果発表会1回
14	委員会費	15,000	18,000	3,000	
15	開発助成費	1,500,000	2,400,000	900,000	
16	通信運搬費	60,000	57,000	△ 3,000	
17	消耗品費	50,000	30,000	△ 20,000	
18	賃借料	88,000	11,000	△ 77,000	
19	諸謝金	90,000	50,000	△ 40,000	
20	② 管理費	[ 488,200 ]	[ 774,837 ]	[ 286,637 ]	
21	会議費	( 100,000 )	( 79,100 )	( △ 20,900 )	
22	旅費	80,000	63,000	△ 17,000	
23	賃借料	20,000	16,100	△ 3,900	
24	事務費	( 88,200 )	( 45,737 )	( △ 42,463 )	
25	消耗品費	70,000	19,000	△ 51,000	周知案内WEB化
26	通信運搬費	15,000	18,000	3,000	
27	雑費	3,200	8,737	5,537	
28	事務委託費	( 300,000 )	( 650,000 )	( 350,000 )	縁故債満期による
29	経常費用計	2,291,200	3,340,837	1,049,637	
30	当期経常増減額	△ 123,000	0	123,000	
31	2. 経常外増減の部				
32	(1) 経常外収益				
33	経常外収益計	0	0	0	
34	(2) 経常外費用				
35	経常外費用計	0	0	0	
36	当期経常外増減額	0	0	0	
37	当期一般正味財産増減額	0	0	0	
38	一般正味財産期首残高	7,855,491	7,265,255	△ 590,236	
39	一般正味財産期末残高	7,732,491	7,265,255	△ 467,236	
40	<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
41	当期指定正味財産増減額	0	0	0	
42	指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0	
43	指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0	
44	<b>III 正味財産期末残高</b>	207,732,491	207,265,255	△ 467,236	

## 令和4年度予算案 収支予算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

1	A	B		C	D	E	F
	科 目	公益目的事業会計			法人会計	内部取引控除	合計
		研究開発助成事業	小計				
2	<b>I 一般正味財産増減の部</b>						
3	1. 経常増減の部						
4	(1) 経常収益						
5	① 基本財産運用益	[ 2,454,647 ]	[ 2,454,647 ]	[ 857,967 ]	[ 0 ]	[ 3,312,614 ]	
6	基本財産受取利息	2,454,647	2,454,647	857,967	0	3,312,614	
7	② 特定資産運用益	[ 28,200 ]	[ 28,200 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 28,200 ]	
8	特定資産受取利息	28,200	28,200	0	0	28,200	
9	③ 雑収益	[ 23 ]	[ 23 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 23 ]	
10	受取預金利息	23	23	0	0	23	
11	経常収益計	2,482,870	2,482,870	857,967	0	3,340,837	
12	(2) 経常費用						
13	① 事業費	[ 2,566,000 ]	[ 2,566,000 ]	[           ]	[           ]	[ 2,566,000 ]	
14	委員会費	18,000	18,000			18,000	
15	開発助成費	2,400,000	2,400,000			2,400,000	
16	通信運搬費	57,000	57,000			57,000	
17	消耗品費	30,000	30,000			30,000	
18	賃借料	11,000	11,000			11,000	
19	諸謝金	50,000	50,000			50,000	
20	② 管理費	[           ]	[           ]	[ 774,837 ]	[ 0 ]	[ 774,837 ]	
21	会議費	(           )	(           )	( 79,100 )	( 0 )	( 79,100 )	
22	旅費			63,000	0	63,000	
23	賃借料			16,100	0	16,100	
24	事務費	(           )	(           )	( 45,737 )	( 0 )	( 45,737 )	
25	消耗品費			19,000	0	19,000	
26	通信運搬費			18,000	0	18,000	
27	雑費			8,737	0	8,737	
28	事務委託費	(           )	(           )	( 650,000 )	( 0 )	( 650,000 )	
29	経常費用計	2,566,000	2,566,000	774,837	0	3,340,837	
30	当期経常増減額	△ 83,130	△ 83,130	83,130	0	0	
31	2. 経常外増減の部						
32	(1) 経常外収益						
33	経常外収益計	0		0	0	0	
34	(2) 経常外費用						
35	経常外費用計	0		0	0	0	
36	当期経常外増減額	0		0	0	0	
37	当期一般正味財産増減額	△ 83,130	△ 83,130	83,130	0	0	
38	一般正味財産期首残高					7,265,255	
39	一般正味財産期末残高					7,265,255	
40	<b>II 指定正味財産増減の部</b>						
41	当期指定正味財産増減額					0	
42	指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000			200,000,000	
43	指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000			200,000,000	
44	<b>III 正味財産期末残高</b>	207,265,255	207,265,255			207,265,255	